



世界エイズデー2020 について

毎年12月1日は世界エイズデーです。世界中の人びとが連帯し、HIV陽性者およびHIVに影響を受けた人への支援とエイズで亡くなった人への追悼の思いを新たにします。

2020年の世界の関心は、COVID-19パンデミックが健康と生活、生計におよぼす影響に集中していました。保健分野の課題が不平等の解消や人権、ジェンダーの平等、社会保護、経済成長など他の重要な課題と大きく関係していることをCOVID-19が改めて示しています。今年の世界エイズデーのテーマが「グローバルな連帯、共有の責任」に決まったのもこのためです。



すべての人が安全になるまで、誰もパンデミックから安全ではいられない。このことをCOVID-19は示しています。誰かを置き去りにしたままで成功するような選択肢は、私たちにはありません。HIVとCOVID-19が同時進行するパンデミックの終結は、スティグマと差別をなくし、人びとを中心に考え、人権とジェンダーへの対応をアプローチの基本にできるかどうかにかかっています。

COVID-19 のパンデミックは、私たちの社会に根強く残る不平等の存在を明らかにしています。この保健の危機は、他の多くの人びとの中でも、最も貧しく、最も社会的に脆弱な立場の人びとにとりわけ大きな打撃を与えているのです。



COVID-19 の危機が、HIV 陽性者や女性と少女、キーポピュレーションの人たちにとって、生命にかかわる保健医療へのアクセスを含め、すでに直面している問題を一段と悪化させてきたこと、そしてこの危機が社会的、経済的な不平等を拡大し、社会から排除されがちな人たちの HIV に対する脆弱性を増してきたことを、私たちは目の当たりにしています。



しかし、この危機はまた、より良く現実に対処するために協力を促す警鐘の機会でもあります。さまざまな意味で、公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結に失敗するかどうかは、世界が COVID-19 にどう反応するのかにかかっているのです。

エイズ対策に成功をもたらすのはコミュニティのリーダーシップと関与であり、それはCOVID-19対策においても重要になります。HIVに影響を受けている人たちに情報やサービスを提供し、社会的保護を確保し、希望をもたらすうえで、コミュニティの活動と連帯がいかに重要な役割を果たしてきたか。私たちはその実例を数え切れないほど見てきました。しかし、そうした連帯の実現は、コミュニティだけが頑張れば責任を果たせるというものではないのです。政府やドナー、宗教的指導者、市民社会、そして私たち一人一人が、世界をより健康な場所にするために貢献しなければ実現はしません。



グローバルな連帯、共有の責任には エイズ対策を含むグローバルヘルスのあり方を新たな方法で見直していく必要があります。世界が一つになって、確実に以下のことを実現しなければならないのです：

保健に十分な資金を確保する。保健医療に十分な資金が提供できるよう各国政府は協力して新たな方法を見つけなければなりません。単独でそれができる国はないのです。国内および国際的な保健投資を増やす必要があります。

保健システムを強化する。過去数十年にわたるエイズ対策への投資は保健医療システムの強化を助け、いまはCOVID-19対策にも役立っています。しかし、保健医療システムの強化を進め、医療従事者を保護するためには、さらに多くのことが必要です。

アクセスを保障する。生命を救うために必要な治療薬やワクチン、診断薬は公共財と考えなければなりません。個人も、コミュニティも、国も、生命を救うために必要な保健医療用品を誰一人、取り残されることなく利用できるようにしなければなりません。そのためには、グローバルな連帯と共有の責任が不可欠です。



人権を尊重する。持続可能な健康への成果を生み出すには、すべての場面で人権尊重のアプローチをとることが必要です。COVID-19 パンデミックは、社会の中の断層線の存在を示し、世界中の多くの地域で、キーポピュレーションがいかに取り残されたままの状態に置かれているのかを明らかにしました。

女性と女児の権利、ジェンダーの平等が中心となる。COVID-19 パンデミックに対応するためのロックダウン対策は、女性の生計に過剰な影響を及ぼし、女性に対する家庭内暴力の増加をもたらす結果にもなっています。女性は自らの生活にかかわる意思決定のプロセスに加わってなければなりません。何十年にもわたってジェンダーの平等を求め、ようやく勝ち取ってきた成果を失ってしまう余裕はいま、世界にはないのです。

いままさにこの瞬間こそが、平等な社会の実現に向けて大胆なリーダーシップを発揮し、すべての人の健康への権利と力強く公平な世界を回復すべき時なのです。世界エイズデーを機に、各国がより健康な社会を実現する対策を強化するよう呼びかけます。一緒に参加してください。今年の世界エイズデーは、**グローバルな連帯と共有の責任**を求めましょう。

キャンペーン素材

今年の世界エイズデーに参加し、不平等の存在に光を当てて、その解消に取り組むことを応援してください。皆さんのデジタル・プラットフォームで以下の資料を活用し、不平等の存在が多くの人の命を犠牲にしていること、そして、それを終わらせる時が来たことを世界に示すことができます。

翻訳 公益財団法人エイズ予防財団